



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月9日

上場会社名 天龍製鋸株式会社

上場取引所 東

コード番号 5945 URL <https://www.tenryu-saw.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大石 高彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 堀内 敏晴

TEL 0538-23-6111

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	10,628	34.7	2,260	116.0	2,490	117.3	1,748	119.3
2021年3月期第3四半期	7,888	12.2	1,046	17.6	1,146	17.7	796	16.5

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,336百万円 (41.9%) 2021年3月期第3四半期 1,646百万円 (191.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	377.77	
2021年3月期第3四半期	172.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	33,249	29,810	89.7
2021年3月期	30,783	27,844	90.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 29,810百万円 2021年3月期 27,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		80.00	80.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				137.00	137.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	25.2	2,840	83.2	3,040	73.4	2,100	74.6	453.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	5,573,817 株	2021年3月期	5,573,817 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	946,361 株	2021年3月期	946,286 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	4,627,483 株	2021年3月期3Q	4,627,531 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展や大規模経済政策の効果により個人消費が増加し、景気の回復が進みました。欧州では、各国で経済活動の制限が段階的に緩和され、景気の回復傾向が維持されています。中国については、政府によるコロナ対応や電力制限等の規制などにより景気回復のペースはやや減速傾向にあります。

わが国経済は、コロナワクチン接種率の向上とともに感染者数が減少し緊急事態宣言が解除されたことにより、景気を持ち直しの動きが見られました。しかし、その後、感染力の強い変異株（オミクロン株）による感染再拡大や半導体をはじめとする各種部品の供給不足、原材料価格や輸送費の高騰などにより、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループにおきましては、感染対策の徹底や原材料等の確保に努め、お客様への商品・サービスの安定供給に取り組んでまいりました。また、「中期経営計画」（2021年度～2023年度）で掲げた「効率的な生産体制の構築」、「新製品の開発および既存技術の向上」等の重点戦略を推し進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、国内外市場で受注が回復し総じて販売が好調に推移したことにより、10,628百万円（前年同四半期比34.7%増）となりました。利益面では、海上運賃等の高騰によるコスト増の影響はありましたが、増収効果や海外工場での自動・省人化設備による生産効率向上を主因として、営業利益は2,260百万円（前年同四半期比116.0%増）、経常利益は2,490百万円（前年同四半期比117.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,748百万円（前年同四半期比119.3%増）となりました。

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等の適用により、当第3四半期連結累計期間の売上高及び販売費及び一般管理費はそれぞれ51百万円減少しております。なお、営業利益に与える影響はありません。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

半導体不足により自動車産業の稼働率が低下し一部国内販売に影響はありましたが、海外販売は好調に推移し、売上高は8,743百万円（前年同四半期比36.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、受注回復による工場の操業度向上により、907百万円（前年同四半期比467.2%増）となりました。

② 中国

金属用チップソー及び住宅資材用チップソーの販売が好調に推移し、売上高は4,226百万円（前年同四半期比50.9%増）、セグメント利益（営業利益）は、自動・省人化設備による生産効率の向上などにより、1,072百万円（前年同四半期比62.8%増）となりました。

③ アジア

住宅資材用チップソーの販売が堅調に推移したことに加え、金属用チップソーの受注が回復傾向にあり、売上高は1,083百万円（前年同四半期比30.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、付加価値の高い金属用チップソーの販売増加や新規導入設備による生産効率の向上により、135百万円（前年同四半期比158.8%増）となりました。

④ アメリカ

物流の混乱により商品の入荷遅延等もありましたが、金属用チップソーの販売が回復したことなどにより、売上高は1,279百万円（前年同四半期比10.3%増）、セグメント利益（営業利益）は119百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

⑤ ヨーロッパ

コロナ禍の影響で落ち込んでいた金属用チップソーの販売が回復し、売上高は551百万円（前年同四半期比47.2%増）、セグメント利益（営業利益）は、売上高の増加などにより48百万円（前年同四半期比236.5%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を反映し、連結売上高13,800百万円（前年同期比25.2%増）、営業利益2,840百万円（前年同期比83.2%増）、経常利益3,040百万円（前年同期比73.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,100百万円（前年同期比74.6%増）と修正いたしました。詳細は、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,801,882	7,978,659
受取手形及び売掛金	2,772,258	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,379,000
有価証券	2,002,798	1,900,700
商品及び製品	2,112,454	2,190,920
仕掛品	640,335	670,890
原材料及び貯蔵品	1,243,805	1,511,761
その他	216,496	224,368
貸倒引当金	△102,918	△93,712
流動資産合計	15,687,112	17,762,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,837,552	1,782,014
機械装置及び運搬具(純額)	3,435,104	3,477,955
土地	2,478,185	2,477,285
その他(純額)	188,213	450,987
有形固定資産合計	7,939,056	8,188,242
無形固定資産	90,704	57,469
投資その他の資産		
投資有価証券	6,523,018	6,760,728
退職給付に係る資産	114,503	127,108
その他	443,628	378,558
貸倒引当金	△14,099	△25,183
投資その他の資産合計	7,067,050	7,241,211
固定資産合計	15,096,811	15,486,923
資産合計	30,783,923	33,249,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540,794	692,661
未払法人税等	161,704	315,289
賞与引当金	165,400	108,431
その他	661,763	786,223
流動負債合計	1,529,663	1,902,606
固定負債		
繰延税金負債	1,394,480	1,521,955
退職給付に係る負債	—	6,476
その他	15,717	7,981
固定負債合計	1,410,197	1,536,413
負債合計	2,939,861	3,439,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	581,335	581,335
資本剰余金	552,747	552,747
利益剰余金	25,927,775	27,305,714
自己株式	△1,980,958	△1,981,165
株主資本合計	25,080,899	26,458,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,058,653	2,139,855
為替換算調整勘定	586,629	1,126,747
退職給付に係る調整累計額	117,879	85,256
その他の包括利益累計額合計	2,763,163	3,351,860
純資産合計	27,844,062	29,810,491
負債純資産合計	30,783,923	33,249,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	7,888,736	10,628,346
売上原価	5,074,512	6,433,902
売上総利益	2,814,223	4,194,444
販売費及び一般管理費	1,767,505	1,933,840
営業利益	1,046,718	2,260,603
営業外収益		
受取利息	12,664	20,194
受取配当金	91,604	107,853
為替差益	—	52,997
その他	86,818	62,717
営業外収益合計	191,088	243,763
営業外費用		
支払利息	245	50
為替差損	51,792	—
貸倒引当金繰入額	—	11,629
その他	39,649	1,976
営業外費用合計	91,687	13,656
経常利益	1,146,119	2,490,710
特別利益		
固定資産売却益	285	439
特別利益合計	285	439
特別損失		
固定資産除却損	3,451	4,975
特別損失合計	3,451	4,975
税金等調整前四半期純利益	1,142,953	2,486,173
法人税、住民税及び事業税	223,091	619,768
法人税等調整額	122,882	118,263
法人税等合計	345,974	738,032
四半期純利益	796,978	1,748,141
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	796,978	1,748,141

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純利益	796,978	1,748,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,023,963	81,202
為替換算調整勘定	△184,199	540,117
退職給付に係る調整額	9,720	△32,622
その他の包括利益合計	849,484	588,697
四半期包括利益	1,646,462	2,336,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,646,462	2,336,838
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上してございました販売手数料を売上高から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高及び販売費及び一般管理費はそれぞれ51,543千円減少しております。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,189,498	955,746	218,271	1,154,545	370,674	7,888,736	—	7,888,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,221,269	1,844,814	609,854	5,259	3,729	3,684,927	△3,684,927	—
計	6,410,767	2,800,560	828,126	1,159,805	374,403	11,573,663	△3,684,927	7,888,736
セグメント利益	160,084	659,078	52,218	101,076	14,368	986,826	59,891	1,046,718

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,909,815	1,632,091	264,885	1,277,151	544,401	10,628,346	—	10,628,346
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,833,307	2,594,828	818,706	1,951	6,659	5,255,453	△5,255,453	—
計	8,743,122	4,226,920	1,083,592	1,279,102	551,060	15,883,800	△5,255,453	10,628,346
セグメント利益	907,961	1,072,987	135,167	119,659	48,354	2,284,130	△23,527	2,260,603

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」の売上高は3,700千円減少し、「アメリカ」の売上高は32,060千円減少し、「ヨーロッパ」の売上高は15,781千円減少しております。なお、セグメント利益に与える影響はありません。